



# ワークショップ入門

代表者 | 東根 ちよ【講師】（地域学部）  
 連携先 | 公益財団法人とっとり県民活動活性化センター、特定非営利活動法人こども未来ネットワーク、とっとりずむ ほか

**目的** 昨今の地域づくり実践を行う上で必要不可欠となる、まちづくり系ワークショップを体験・会得することで、目的に応じたワークショップの企画運営ができる人材育成を行う。その際、既存のワークショップデザインではなく、鳥取県の地域性に根差し、ローカライズされたワークショップデザインの体験・会得のため、地域の関係者の参画を得てプログラム開発・実践を行う。

**取組み** プログラム前半はワークショップの体験、後半はワークショップの実践として、下記の内容を実施した。  
**【前半】**コミュニケーションゲーム(1)(2)、演劇手法のコミュニケーション体験(1)(2)、アナログゲームを用いたコミュニケーション  
**【後半】**つたえる情報誌の編集(1)(2)(3)、ドキュメンタリー映画の見方(1)(2)、記事作成ワークショップ(1)(2)

**成果** 本取り組みによるワークショップの内容は、連携先である公益財団法人とっとり県民活動活性化センター情報誌「いまと、これから。」の特集記事として発行され、鳥取県内各所で配布された。また、本取り組みには、前年度受講学生が授業中にサポートスタッフとして参加し、グループのファシリテートを円滑に行うなど、年度をまたいだ成果が見られる点も特徴である。

**今後の展開** 本取り組みを通じて、地域の関係者の参画を得ることができれば、あらかじめ決められたプログラムを提供するのではなく、その時々で地域において必要とされる内容に応じたプログラムの開発と実践、地域への還元が可能となることが示唆された。本取り組みによる具体的なプログラムの内容と、教育活動の構築の方法は、地域人材育成・地域協働教育のひとつのありようである。

**地域へのメッセージ** 地域実践型教育活動(地域連携授業)の一環として、実施しました。本取り組みを通じては、実践型の授業の場合、プログラムを練っていく段階から地域の関係者の方々に参画いただくことで、質の高い教育が可能となり、成果が具体的な形で地域へ還元されていくことを学びました。

